

3月定例会の概要

21年度一般会計予算は、多数で原案どおり可決

3月定例会は、3月2日から19日まで18日間の会期で行われました。議案については、21年度当初予算案などが提案され、一般会計と13の特別会計のほか、企業会計合わせて総額428億2637万円の各予算と条例等を審議しました。採決の結果、48の議案と議員発案の意見書1件を可決しました。

主な単行議案

◆ふるさと創生基金を活用します
ふるさとの歴史・文化の環境づくりにふさわしい事業に対して基金を活用します。

◆23年度までの介護保険料を定めました
現行6段階の各保険料を据え置くとともに、一定の所得要件を満たす高齢者の保険料を軽減するため、6段階の保険料を8段階にします。

◆介護従事者処遇改善臨時特例基金を設置します
介護報酬の改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため、23年度まで基金を設置します。

◆二ツ井中学校の耐震補強等工事を行います
契約額は2億6754万円で、契約の相手方は中田建設株式会社能代本店です。

◆工場等の新設等に対する奨励措置を拡大します
対象業種に情報通信関連サービス事業所を追加し、適用期間を24年度まで延長します。そのほか雇用奨励金等の交付要件の緩和、新たな助成金の追加、固定資産税の課税免除期間を3年から5年に拡大します。

◆道路占用料を改定します
電柱、電話柱、広告塔等の道路占用料を引き下げます。

◆戸籍電算化システムを構築します
契約額は1億9635万円で、契約の相手方は富士ゼロックスシステムサービス株式会社公共システム事業部東日本営業統括部東北支店です。

◆道の新設等に対する奨励措置を拡大します
対象業種に情報通信関連サービス事業所を追加し、適用期間を24年度まで延長します。そのほか雇用奨励金等の交付要件の緩和、新たな助成金の追加、固定資産税の課税免除期間を3年から5年に拡大します。

20年度一般会計補正予算

補正予算(第8号)は1億9240万円、補正予算(第9号)は29万3千円の追加で、予算総額は259億9952万6千円となりました。

補正予算の主な内容・事業

◆プレミアム付き商品券発行に対して補助します 1200万円

定額給付金の支給にあわせて、能代商工会議所と二ツ井町商工会が発行する商品券のプレミアム分を補助します。

◆道の駅ふたつりフレッシュトイレの浄化槽改修を進めます 29万3千円

現在使用禁止となっているフレッシュトイレの浄化槽を改修するための設計をします。

20年度特別会計補正予算

- ・簡易水道事業特別会計補正予算
- ・下水道事業特別会計補正予算
- ・浄化槽整備事業特別会計補正予算
- ・浅内財産区特別会計補正予算
- ・常盤財産区特別会計補正予算
- ・鶴形財産区特別会計補正予算
- ・檜山財産区特別会計補正予算
- ・国民健康保険特別会計補正予算
- ・老人保健医療特別会計補正予算

・後期高齢者医療特別会計補正予算
・介護保険特別会計補正予算

20年度企業会計補正予算

・水道事業会計補正予算

21年度一般会計予算

21年度当初予算は、254億8500万円で、前年度の当初予算と比較して10・9%、額にして25億300万円の増となっています。採決の結果、賛成多数で可決しました。(可決25人、否決2人)

当初予算の主な新規事業

◆若者目線の地域マップを作成します 50万円
若手魅力発見・発信事業としての市の若手職員政策検討会議の提案事業を実施します。

◆地域集会所の建設・修繕に補助します 299万3千円
金拓自治会館の建設と鬼神部落公民館の修繕に補助します。

◆ふるさと人材育成・定住促進奨学金を貸し付けます 1080万円
能代市山本郡の人材育成と定住促進を図るため、大学生等20人(能代市13人)に奨学金を貸し付けます。